

広報・教育部門

応募事例名

下水道×農業を通じた地域の高校との連携
～コンセッション事業を通じて民間企業が実践する地域連携～

応募団体名)三浦下水道コンセッション株式会社

応募事例の概要

コンセッションで運営する下水道施設内に栽培ハウスを新設し、下水熱や処理水を活用したイチゴ栽培に取り組んでいます。地域の高校と継続的に連携し、当施設での栽培活動を通じて、下水道資源の可能性や魅力を伝えるとともに信頼関係を構築しています。

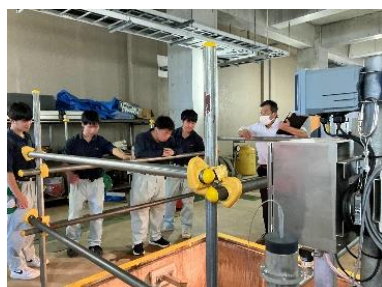
応募事例の内容



栽培する作物に関する生徒との意見交換会でアイデアを出し合いました。他にも、高校ではこれまで3回の出前講座を開催しています。



下水処理場の栽培施設での現地作業会の様子。年間を通し、イチゴの種まきから収穫まで生徒と協働して取り組みました。



下水処理場見学会を開催し、下水処理の仕組みを知ってもらうことで、下水道資源を使った作物栽培への理解を深めてもらいました。



東京大学加藤特任准教授による特別講座「下水道と地域循環」を開催し、多くの生徒に下水道資源に興味を持ってもらう機会を創出しました。

PRポイント

地域の高校とは、コンセッション事業開始前の令和3年より継続して関係を構築し、栽培作物の選定から苗の定植、育成、収穫まで一緒に行ってきました。下水処理場見学会や高校での出前講座等も企画・開催し、下水道への理解や下水道資源を使った農業の魅力を伝えています。生徒からは「下水道と食のつながりに興味を持った」「環境の大切さに気付いた」といった感想をいただき、取組みに対する理解の広がりや意義を実感しています。



三浦下水道コンセッション株式会社
小西ちぐさ・関佳織

取組みに関するエピソード

三浦市の下水道事業を担う私どもコンセッション事業者が、資源循環と地域連携の視点から任意事業として提案した取組みです。コンセッション事業開始前より取組み検討を行っており、全てが手探りでスタートでしたが、高校や地元農家の方と会話を続け、信頼関係を構築してきました。今後も地元関係者との連携の輪を広げ、イチゴを使った商品開発等にも挑戦したいと思っています。